

データドリブン 基本コース

(旧:戦略的データ活用基本コース)

～戦略的意思決定に求められるデータ分析力の強化～



期 間

2024年 4月23日(水) ~ 12月12日(木)

各月1~2日
全11日

(4月開講課程は動画配信、12月修了課程は、九州生産性大学経営講座 全12コースのプログラムとなります)

参加対象

- ◎データ分析の基本を学びたい方
- ◎自社データの分析・活用を進めたい方
- ◎データを活用したい経営企画、マーケティング、営業、生産、人事部門などの方

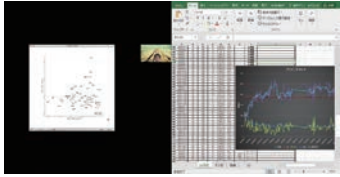


開催形式

- | | |
|---------------|---------------|
| 【オンライン(ZOOM)】 | 【会場(九州生産性本部)】 |
| 5月28日、 | 5月14日、 |
| 6月、8月、 | 7月 |
| 9月、10月、11月 | |

データが開く新しいビジネスの扉

情報洪水時代においてデータを上手に汲み入れるか、データにのみこまれるか。 DX時代、データを活かした分析思考力の強化を目指す

日々刻々と進化するICT技術により、ビジネスはより一層多様化し、その情報量は爆発的に増大しています。しかし、ビジネスの現場では「データはあるが集めるだけ集めて眠っている状態」「うまく活用しようにもその方法がわからない」「そもそもデータの集め方がわからない」など、将来の利益となりうる「宝」ともいえる顧客情報を上手く活用できず、機会損失となっている場面も多いのではないのでしょうか。そこで、本コースでは、データ分析の基本的考え方から実際の活用に必要な統計学的思考力、定量分析の基礎的能力、整理力などの強化を目指します。

実際に手を動かして習得する 手元の画面で実際にデータを扱いながら操作していく研修スタイルにより、習得を促進します。 	事前動画による学習 研修内容の理解を深めるために、第1、4単元の前に事前動画をご覧ください。 	異業種の方との相互研鑽 グループワークや交流の機会を活用して、相互に意見交換し、自分や自社だけでは完結しない学びを提供します。 
--	---	--

本コースの全体像	● ビジネスインテリジェンス手法 第1単元 データ分析の概要 第2単元 多量データのBI分析	● 統計手法 第3単元 データの見える化 第4単元 データから推測する 第5単元 推測データの検証 第6単元 データの見方と確認	● 定性分析 第7単元 文字データの分析 第8単元 実践データ分析演習
-----------------	---	---	--

参加費 (1名様につき・税込)

- 賛助会員企業の方 **253,000円** (本体価格 230,000円 消費税 23,000円) ◇定員40名になり次第、受付を締切らせていただきます。
- 一般企業の方 **341,000円** (本体価格 310,000円 消費税 31,000円) ◇参加者がお決まりでない場合は、参加枠の「予約」が可能です(予約枠の有効期限は21日間)

参加費の納入・キャンセルについて

- ①支払い期限(銀行振込):開講日(4月24日)までとさせていただきます。
- ②分割払いをご希望の場合は、半額を開講日(4月24日)までに、残額については支払い予定日をWEB申込画面の備考欄に明記願います。
※残額の納入期限は2024年8月31日まで。
- ③申込後のキャンセルは、直接当本部までお電話願います。
ただし、4月19日以降はキャンセル料を頂戴いたします。 ※4月19日～23日は参加費の50%/4月24日以降は参加費の100%
- ④本コースの最少催行人員は10名とさせていただきます。

期 日	研究テーマ
開講課程 <small>動画配信</small> 4月24日(水) ～5月31日(金)	講演① 「グローバル金融経済の見通し」 BNPパリバ証券(株) 経済調査本部長チーフエコノミスト 河野 龍太郎 氏 講演② 「ウィニングカルチャーとエンゲージメント」 (株)チームボックス代表取締役/日本オリンピック委員会(JOC)サービスマネージャー 中 竹 竜 二 氏 開講式・オリエンテーション
事前動画	記述統計の基礎 1. 統計学の歴史と要約統計学 2. グラフの事例と読み方

期 日	研究テーマ	
第1単元 会場 5月14日(火) 10:00～17:00	今求められるデータを活かしたビジネス戦略 1.ビッグデータ時代の企業を強くする情報活用とは 2.社内に何十万件と眠るデータを活用できているか 3.ひとりひとりが主役のビジネスデータ分析 4.情報活用をうまく進めるために必要な力 <ゲスト卓話>(16:00～17:00) 「身の丈に合ったスマート工場化へ変革」～デジタル活用により改善の畑を可視化し業務改善する～ <参加者交流会～名刺交換～>(17:10～20:00)	事前課題 「自社課題の整理」 「動画視聴」 「自己紹介シート」
第2単元 オンライン 5月28日(火) 10:00～16:00	既存データを活用するビジネスインテリジェンス 1.業務改善の視点から分析する目的を掴む 2.Power Queryによるデータの整備(データクレンジング) 3.実データをBI手法で分析し考え方を学ぶ(操作実演) 4.業務活動に活かす様々なデータ分析手法 5.データ分析・活用の成功要因	事前課題 「ピボットテーブルの基本」
第3単元 オンライン 6月11日(火) 10:00～15:00 6月25日(火) 10:00～15:00	データドリブンに必要なデータの見方・見える化の基本① ～集計と可視化の基本と手法～ 1.データサイエンスの歴史・問題解決の思考法【分解と統合の哲学】 2.量的(数字)データを可視化し要約する 3.ヒストグラムとフィルタリングを活用してデータを見やすくする 4.データ分析に必須のピボットテーブル・ピボットグラフを使いこなす データドリブンに必要なデータの見方・見える化の基本② ～データ分析で必要な視点と論理的思考力～ 1.データを見やすく整える【演習】 ～重複削除と変数の追加、感度分析、時系列プロット、クロス集計～ 2.ダブルピボットによる集計を理解する【発展演習】 3.ロジックツリーによる問題解決の思考力を養う ～Whyツリー、Howツリーの理解～	
第4単元 会場 7月26日(金) 10:00～17:00	複雑なデータを分析するためのスキル① ～「推測統計」を学びデータから客観的な意思決定を行う方法を学ぶ～ 1.アンケート調査の基本、母集団と標本を理解する 2.「推定」を理解し、アンケートデータの解釈法を学ぶ 3.各種推定法(母平均、母比率の推定など)を実践する【演習】 4.「検定」を理解してデータの信憑性を検証する 5.各種検定法(T検定、カイ二乗検定など)を実践する【演習】	事前課題 「動画視聴(確率、データの関係性)」
第5単元 オンライン 8月20日(火) 10:00～15:00	複雑なデータを分析するためのスキル② ～「相関・回帰分析」を学びデータから予測を立てる～ 1.相関分析を理解しデータ間の関連性を定量化する 2.回帰分析を理解しデータから予測を行う 3.広告費から売上を予測するモデルを作成する【演習】 4.売上予測モデルより新規店舗出店計画を行う【演習】	
第6単元 オンライン 9月18日(水) 10:00～15:00	データ間の関係性を正しく読み取る因果推論 ～整理し、分析した結果から学ぶデータリテラシー～ 1.相関関係と因果関係の違いを理解する 2.複数の因果関係を分析する方法を学ぶ ～層別解析、回帰モデル等～	
第7単元 オンライン 10月16日(水) 10:00～15:00	定性分析の基本・テキストマイニングの考え方と実践 ～社内の8割を占める文字データを分析し活用する～ 1.テキストマイニングを知る 2.分析ツール「KH Coder」による実践 3.ビジネスの場で活用する【企業事例】	
修了レポートの提出 (提出期限:10月17日)		
第8単元 オンライン 11月8日(金) 10:00～15:00	「実践データ分析演習」～チームでデータを分析する～ 1.チームで分析する際のコツとカンドコロ 2.アクセスデータより売上構造を分解【演習】 ～売上減少の原因をデータより突き止める～ 3.顧客アンケート分析による新商品販売量予測【演習】 4.演習の解説と单元ごとの振り返り	
修了課程 (全コース合同・会場) 12月12日(木)	講演① 「イノベーションを生み出す思考法」～創造のプロセスをマーケティング思考の観点から～ ケイアンドカンパニー(株)代表取締役社長/元ネスレ日本(株)代表取締役社長兼CEO 高岡浩三氏 講演② 「職場のトリセツ」～心理的安全性を確保する対話術～ (株)感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子氏 修了式 (修了証書授与および優秀レポートの表彰) 修了記念パーティ	

■講師陣紹介

第1・2単元担当

システムリサーチ&コンサルト株式会社
代表取締役

住中 光夫 氏



広島大学卒。コンピュータ販売会社の営業、食品商社の情報システム室長、アパレル会社の経営者、の三面から情報を経営やビジネスに活かす事を実践。その後、現在のシステムリサーチ&コンサルト株式会社を創業し、36年となる。情報システムの構築・活用などのコンサルティング、営業や幹部社員などの社員教育、情報システム活用セミナーの講師などで活躍中。

年間100回ほどのセミナーや社員研修を実施し、延べ受講者は2万人にのぼる。パソコンを駆使して行う提案営業手法や、実際の顧客のデータで行うデータ分析手法などは、多くの現場の営業の方や管理職の方から好評を得ている。マイクロソフト社のMSCセミナーでも3回連続して受講者評価No.1になっている。

第3・4・5・6・8単元担当

和から株式会社
取締役最高分析責任者

川原 祐哉 氏



大学卒業後教育業界に従事しデータをを用いた教育指導、経営判断に関わる。

自社のデータ分析・データ管理を行いつつ、実務で使える統計を社会人に教える講座を実施中。ビジネスマンの統計リテラシーの向上を目指し行う授業は統計初心者にも分かりやすいと好評。またRやPythonを用いた統計解析の個別指導も実施。

広島県進学塾にて講師経験。数字の扱い方を主に担当し、分かりやすい講義で人気がある。

第7単元担当

和から株式会社
経営企画室室長・データコンサルタント

岡崎 凌 氏



大阪大学大学院卒業。初心者の簡単な統計の活かし方から、多変量解析学や機械学習など発展的な分析手法まで幅広く対応できるスキルを持つ。

近年注目を集めるAI技術(Deep Learning)の全フロー(開発・実装・運用)を実施し、統計学と機械学習を中心にセミナー、企業研修、イベント講演、オンライン講義などを手掛ける。

分野は前職の半導体工学分野のデータ分析をはじめ、医療統計、アンケート項目の設計と分析、集計データの可視化からメーカーの売上分析のコンサルティングなども行う。

※経営道場として有名な「澤田経営道場」にて統計担当講師。

ゲスト卓話(第1単元)

アイシン九州株式会社
DX推進室室長

熊谷 隆之 氏



1986年株式会社アイシン入社。

1995年アイシン九州(株)へ転籍。

生産技術、設備保全、製造、品質管理を経て、現在、DX推進室に所属。

『レトロフィットとスモール投資で最大の効果を生み出そう』をスローガンのもとに、自社に合ったスマート工場を目指している。可視化することが目的ではなく、改善の畑を見つけるツールとしてデータ活用している。近年、使用者側のデータ集計や分類業務では、Excelが主流となった。この慣れ親しんだExcelを軸にして素早く効果を刈りとるため、安速単(安い・速い・単純)で推進し飛躍的な生産性の向上を図る。

■申込方法

WEBでの申込受付(先着順)となります。

参加者がお決まりでない場合は、WEBから参加枠の「予約」が可能です。

■受講形式

◇オンラインはZoomミーティングを使用します。

◇Wi-Fi環境や有線LANなど高速通信が可能なインターネット環境でご受講ください。

◇事前にZoomアカウント(無料)の取得をお願いします。視聴にかかる通信料はご負担ください。

※九州生産性大学経営講座の詳細パンフレットをご希望の方はご連絡ください。

お申込み・問合せ先

公益財団法人九州生産性本部

九州生産性大学「データドリブン基本コース」係

<https://qpc.or.jp/>

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階

TEL/092-771-6481 FAX/092-771-6490

